

セメスター便り 11月号

南開大学に留学に来て3か月がたちました。私たちは生活にすでに慣れ、皆楽しい日々を毎日送っています。私たちは大学周辺の地理を知り、中国語のレベルも一段と高くなって大学の外へ赴いて様々な人たちと触れ合っているようです。中にはあるお店に何度も出向いて常連になった人もいます。そして11月は先月のカラオケ大会に始まり他の国の留学生と交流できるイベントが沢山ありました。

○美食コンテスト

11月11日に留学生対抗美食コンテストが開かれました。別の国の留学生が混ざって5人で1チーム合計4チームが出場しました。メンバーひとりひとりがそれぞれ自国の料理か中華料理を1品ずつ作り、食べたお客さんがどのチームの料理が総合的によかったかを審査し、優勝を決めます。私のチームには韓国人、シンガポール人、タイ人、それと日本人がいました。それぞれ自国の料理や中国料理を作っていました。私は中国料理の木須肉を作りました。理由は木須肉が中華料理で一番好きだったからです。コンテストに出



された料理は、タイカレーだったり日本の天ぷらだったり韓国料理だったり、計20品色とりどりの料理が並べられていました。よかったのは日本人にもこんなに自分の料理を食べていただいたことがないのに、いろんな国の人に自分が作った料理を食べただけなのは凄く貴重な経験をしました。いろんな方に「好吃！（おいしい!）」と言われてとてもうれしかったです。結果は私たちのチームが優勝しました。一番心に残ったことはいろんな外国の方と力を合わせてこの大会に臨めたことです。こういう交流の場所には積極的に参加していくべきだと思いました。

○バドミントン大会

11月25日と27日には留学生対抗バドミントン大会が開かれました。女子の大会が25日、男子の大会が27日に開かれました。美食コンテストとは違い、個人戦なので自分以外は敵になります。国学院からは女子シングルス2人、ダブルス1チーム、男子シングルス2人が参加しました。男子チームは惜しくも敗れましたが、女子はシングルスダブルスともに優勝しました。勝っても負けても皆楽しそうに諸外国の方と交流していました。



○クラスでのイベント

11月18日にはクラス内でチームを4つに分けてバドミントン大会を開きました。留学生対抗バドミントン大会に参加する学生にとってはいい腕ならしではなかったのでしょうか。その他の学生にとってもいい思い出になったのではないのでしょうか。

11月26日には誕生日会が開かれました。

○生活・学習

気温が11月に入って急激に寒くなったせいか、風邪をこじらせて授業を欠席する学生が増えてきました。特に宿舎の1階に住んでいる学生は暖房がきいていても朝はとても寒いです。朝の太極拳の寒さときたら半端なものではありません。その太極拳も11月中旬ごろに終わりました。うれしいようで毎週3回の太極拳の習慣がなくなってしまうのは少し寂しいと感じました。

文化理解の一環で授業中に剪紙をやりました。剪紙とは中国では広く親しまれている伝統工芸で、紙細工のことをいいます。赤い紙に動物、花や文字などの図案をはさみを使って作ります。細かな部分を切り取る作業に手こずった生徒もいましたが、完成後一部の剪紙は教室の壁に掲載されました。



12月4日にひかえるHSK(中国語能力検定)に向けて勉強に励む人が多かったです。国学院の学生はHSK4級か5級を選択して受けます。4級をうける人たちは余裕をもって勉強していました。私は5級を受けます。5級を受ける人たちは難易度が結構上がるためヒーハー言いながら勉強していました。

○11月のまとめ

光陰矢の如しとはよく言ったものでもう留学生活の4分の3が過ぎました。12月になると忙しくなるのは知っていたのでやりたいことは11月に出来るだけやりました。10月は団体行動が多かったのですが、11月は自主的に行事に参加したり外に出かけたりして言語や文化を学べたと思います。

残り一か月もないですが、後悔のないように全力をつくしたいと思います。

谷口俊大